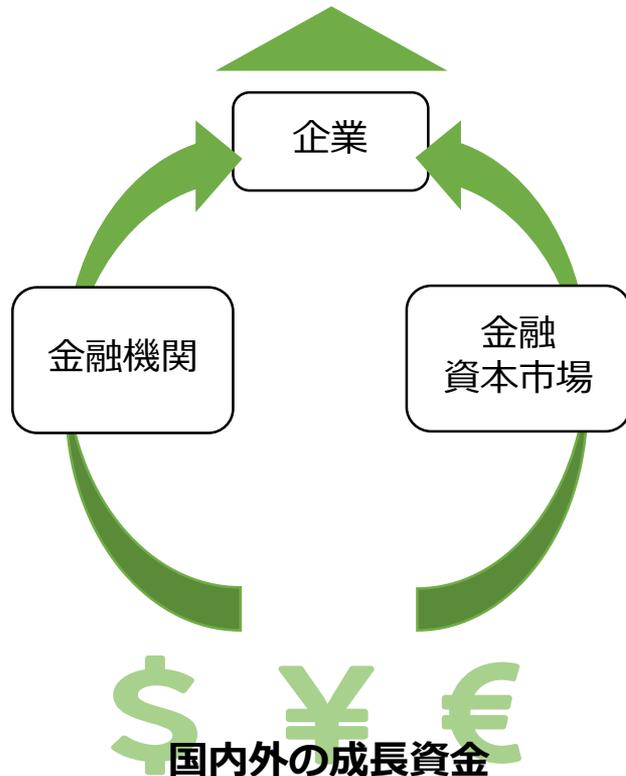


サステナブルファイナンス有識者会議の設置について

- 2050年カーボンニュートラルを「経済と環境の好循環」につなげることが政府全体の課題。
- 日本企業は脱炭素社会の実現に貢献する高い技術・潜在力を有しているが、必ずしも活かせてない。
- 国内外の成長資金が、こうした企業の取組みに活用されるよう、金融機関や金融資本市場が適切に機能を発揮することが重要。

脱炭素化に貢献する
設備投資や事業展開



- 金融庁に産業界・金融界・学者・関係省庁から構成される**サステナブルファイナンス有識者会議**を設置し、以下のテーマについて検討していく。

【テーマ（案）】

・金融機関によるサステナブルファイナンスの推進

⇒ 投資や融資を通じて、顧客企業の高い技術・潜在力が発揮されるよう支え、カーボンニュートラル社会への移行を促進

・金融資本市場を通じた投資家への投資機会の提供

⇒ カーボンニュートラル社会に貢献する投資機会とその収益を、幅広く国民へ提供

・企業による気候関連開示の充実

⇒ 企業のイノベーションに向けた取組みの「見える化」を進め、有用な技術やプロジェクトの資金調達を後押し

※なお、同有識者会議の下に、ソーシャルボンドの実務指針を検討する会議体を設置予定。